

講義名	高齢者心理学			授業形態	
担当教員	菊地 亜草里	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

人は「老い」と「死」を避けることはできない。加齢に伴い、私たちはさまざまな機能の喪失や病気を体験する。これらは、「老い」のネガティブなイメージを人々にもたらす。その一方で、高齢者心理学や近接する学問領域では、これらのポジティブな側面に関しても知見が蓄積されている。本講義では、生物学的・社会的視点を取り入れながら、高齢期の心理学に関する基礎的な知見を扱い、誰もが経験する「老い」という現象について、正しい知識を身に付けることを目的とする。同時に、心理学の視点から、「老い」のポジティブな側面について理解する。

到達目標

加齢という現象について多角的な側面から説明できるようになる
 老いに関する正しい知識を自分で調べて得ることができるようになる
 老いのポジティブな側面について、具体例を挙げつつ論じられるようになる

提出課題

授業後には、以下の内容のショートレポートを課す(次の授業までに提出)
 ・その日のキーワードとなる概念について簡潔に説明する
 ・その他、授業の中で疑問に思ったことや興味を持ったことについて、学術論文や書籍、新聞記事、高齢者へのインタビューや観察などを調べて、わかったことについて簡単にまとめる
 各回のレポートテーマについては「授業計画」に記載
 テーマはあくまで予定であり、変更の可能性あり

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

毎週の提出課題や関連する質問に対するフィードバックは、基本的に次の授業内で行う。必要に応じて資料を配布する。

評価の基準

・毎週の課題にて到達目標、の達成度を評価：60%
 ・定期試験にて到達目標、の達成度を評価：40%

履修にあたっての注意・助言他

課題のレポートは提出の有無だけでなく内容もしっかり評価します。

教科書

・よくわかる高齢者心理学。	佐藤真一 権藤恭之 (編集)	ミネルヴァ書房	2750	4623076555
---------------	----------------	---------	------	------------

参考図書

・高齢者心理学。	権藤恭之編著	朝倉書店	3960	425452675X
・心理老年学と臨床死生学:心理学の視点から考える老いと死。	佐藤真一編集	ミネルヴァ書房	4620	4623093212

その他

授業中に適宜資料を配布する

授業計画

- 第1回 オリエンテーション・生物学的に見た「老い」
 予備：「生物学的老い」とはどのようなものか自分の考えをまとめる(120分)
 復習：「脳の老化」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第2回 社会的に見た「老い」・テーマ：エイジズムについて考える
 予備：「高齢化社会の現状」について調べてまとめる(120分)
 復習：「エイジズム」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第3回 社会的加齢理論 - テーマ：医学・社会的サクセフルエイジング
 予備：「加齢とともに生じる社会的変化について自分の考えをまとめる(120分)」
 復習：「プロダクティブエイジング」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第4回 心理学的加齢理論 - テーマ：心理学的サクセフルエイジング
 予備：「加齢とともに生じる心理的变化について自分の考えをまとめる(120分)」
 復習：「老年の超越」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第5回 認知機能の加齢変化と諸理論
 予備：高齢者の「認知機能」の特徴について観察して気づいたことや自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「加齢低下が少ない認知機能」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第6回 「注意」機能の加齢変化
 予備：高齢者の「注意機能」の特徴について観察して気づいたことや自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「選択的注意」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第7回 「学習」および「記憶」機能の加齢変化
 予備：高齢者の「学習機能/記憶機能」の特徴について観察して気づいたことや自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「加齢低下が少ない記憶機能」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第8回 高次情報処理機能(推論や創造性)の加齢変化
 予備：高齢者の「意思決定」の特徴について観察して気づいたことや自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「流動性知能と結晶性知能」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第9回 その他の認知的加齢変化 - おまけ：認知機能テストをやってみよう
 予備：認知機能検査にはどのようなものがあるか調べてまとめる(120分)
 復習：「認知の予備力」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第10回 高齢者のパーソナリティ(性格特性)と幸福感・長寿
 予備：高齢者の「性格特性」について観察して気づいたことや自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「性格と長寿の関係」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第11回 感情(健康感や人生満足感を含む)の加齢変化・老いの自覚
 予備：高齢者の「感情」の特徴について観察して気づいたことや自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「主観的年齢」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第12回 高齢者の社会とのかかわり - グループワーク：高齢者は「老害」？
 予備：「高齢者が関与すること」について自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「ライフイベント」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第13回 高齢者の対人関係、社会的援助
 予備：高齢者の「対人関係」にはどのようなものがあるか自分の意見をまとめる(120分)
 復習：「世代性」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第14回 介護、死別
 予備：日本社会における「介護」の現状について調べてまとめる(120分)
 復習：「緩和ケア」についてショートレポートに取り組み(120分)
- 第15回 現代的問題・全体のまとめ

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)		イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を通して、日本における高齢社会の状況や加齢変化のあらゆる側面について正しい情報を収集し、得た知識について多角的に分析する能力の習得が期待される。したがって、誤った情報に左右されることなく自分自身で適切に情報を収集し、その情報を活用することができる人材(=「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」)の育成に寄与する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

課題の提出や資料の配布は、適宜 Campus cross 等を活用する

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考

授業の内容や進め方は、受講生の理解度等に応じて適宜変更する場合がある